



広報 てらどまり

加賀正

新年号

よい子の作品 明るい家庭づくりに 貢献

毎年実施されている郡保護司会の主催する児童、生徒の図画コンクールに今年も寺泊町から九十三点出品し、厳選の結果つぎのように良い成績をおさめることができました。

入選作品は、保護司会の手で全国の刑務所に掲示され、服役中の人から一日でも早く社会復帰してもらおうというものです。
出品作品は、夏休み中における児童生徒の傑作で、「明るい家庭づくり」をテーマとして、各小・中学校から百三十四点応募されたうちから一次予選をおこない九十三

点について郡へ推せんした結果です。

入選作品

- 一年二位 (夏戸小) 小越 里香
- 三年三位 (本山小) 北沢 恵子
- 四年一位 (夏戸小) 小越 信晴
- 四年三位 (夏戸小) 小越 智教
- 五年三位 (本山小) 市川 清吉
- 六年一位 (夏戸小) 内藤 明子
- 六年二位 (本山小) 八子 豊



よい子たちの応募作品

除雪は業者委託に あともたたない 放置車輛

例年県道の一部及び町道の除雪については町で実施してまいりましたが、今冬からはほぼ全路線業者に委託し除雪を行います。
計画除雪延長は、町道関係で八十数キロほど昨年より約一割増となっています。また、県道については、長

岡寺泊線を県直営で、新潟寺泊崎線は中元組、寺泊与板線、郷本桐原停車場線は水倉組、新潟寺泊線は巻土木事務所それぞれ除雪し、他の県道は町で委託することにし除雪車輛もグレー二台、ブルー二台、ブルー一台小型ブル三台(トレーラー付)を配置します。
なお、毎年のことながら除雪の際一番の障害は道路上に放置してある車輛が後をたさないことです。昨年の事例ですが、午前三時に出動しても放置車輛があつたため除雪車が進むことができずやむなく引返したこともありましたが、一人の不心得者のために多くの住民がたいへんな迷惑をこうむることにあります。注意と協力をお願いします。

水道にも冬じたくを

◎水道管の防寒巻はお済みでしょうか/
◎自分の家の止水栓の場所をたしかめて雪が降ってもわかるよう何か目印をしておいてください/凍って水がでないときは急に熱湯をかけないで//管や蛇口が破裂することがありますよ。

催物案内

- 野積成人学級 / とき1月22日1時30分 / ところ野積小 / テーマ「脳卒中の予防と手当」 / 講師金丸先生
- ヤングママの育児教室 / とき1月22日10時 / ところ郷本保育所 / 講師当銀敏雄先生
- 青年学級フレンドシップスクール / とき1月26日夜7時30分 / ところ体育館第一会議室 / テーマ「あなたもしゃべれる」 / 講師荒井快英先生
- 大河津婦人学級 / とき1月29日9時 / ところ農業研修所 / テーマ「調停問題について」 / 講師長岡地裁書記官
- ママさんバレー大河津地区ブロック大会 / とき2月19日 / ところ大河津中体育館
- 町民スキー教室 / 自然を愛する会で募集中 / とき2月19日 / ところ石打後楽園 / 募集人員先着50名 / 申込は上記会か大河津公民館へ

善意ありがとうございます ございました

求草の藤田藤美男さんと万善寺の野本龍一さんのお二人は、大河津公民館へ図書を寄贈されました。さっそく公民館では貸出し準備をするとともに末永く活用させていただくことにしました。たいへんありがとうございます。

季節の話題 初夢

元旦の夜から二日朝にかけて見る夢が初夢。
初夢にはどんな夢を見たらよいのか、一般にいわれているのは一富士、二鷹、三茄子があります。
この由来諸説があるのですが、その一つは徳川家康がまだ駿府の城にいた頃、ある日三保に遊びに行ったのです。その時は四月だというのにもうナスが実っていたので、これは珍しいから買って帰ろうと思いついたから買ってきた。そこで家康は「駿府で高いものは富士山と愛鷹山だけかと思っていたがナスも高いものだ」といったのがはじまりだとか。
もともと一般的な話としては富士は霊山のうえ日本一高い山だし鷹はたいへん強い鳥でめつたい負けない、茄子は「成す」に通ずるから三つともめでたいものばかりそれを初夢に見ることはたいへんに縁起がいいという説です。
何んとなくこじつけてはおりますが、こういう話はあまりせんざくすると、それこそ夢がなくなってしまう。



国の方針が地方自治に影響するところが大きいので仕方がないが、まあ昔なら米が多く取れば安心できたし、貿易が盛んで黒字が大きければ万才のはずで、今自動車、テレビ、ステレオ、カメラが外国製品を圧倒して日本円が高く、カメラが外国製品を圧倒して日本円が高くなったのはある意味で喜ぶべきなのではないか、ただし洋食器、繊維製品の場合は、韓国、台湾、香港製品に押された結果が原因で、結局日本の賃金高も一因でないか、要するに経済の競争に巻き込まれて苦しんでいるものと考えられる。

良寛は、首を回す七十余年人間の是非看破に飽きたいと詩に詠んでいるが、私は首を回す八十余年行政の是非看破に苦しむと言いたい。

私は、任期は七月までだ、それまで全力を尽して後任者がやりやすい町政を残す覚悟でありますから皆様の御協力をお願いいたします。

特別会計

◎国民健康保険特別会計

歳入 393,475千円
 歳出 371,056千円
 差引 22,419千円

歳入では、国県支出金240,236千円、国保税136,066千円、繰越金14,499千円等であります。

歳出では、保険給付費345,007千円で93%を占め、総務費16,105千円、保健施設費9,591千円が主なものです。51年度当初、医療費が平均9.1%引上げになり、町が支払った療養給付費は316,890千円で前年度に比較して24.3%増加しています。

◎国保診療所特別会計

歳入 73,997千円
 歳出 67,474千円
 差引 6,523千円

◎水道事業会計

水道事業は、企業体としての経済性を明確にするため、決算方式も当年度損益収支と資本収支とに大別して形成されています。

損益勘定 収入 92,152千円
 支出 86,063千円
 純利益 6,089千円

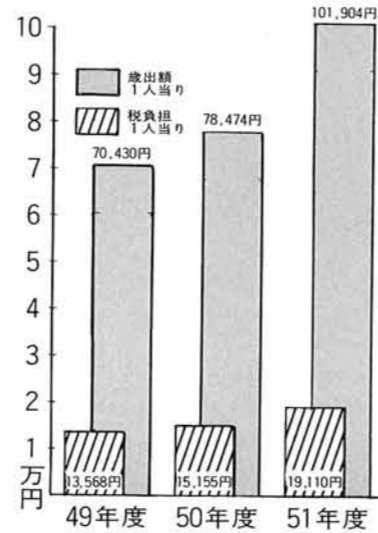
資本勘定 収入 53,915千円
 支出 70,589千円

(資本勘定の収入不足16,674千円は過年度分損益勘定留保資金と当年度分損益勘定留保資金で補填されています。)

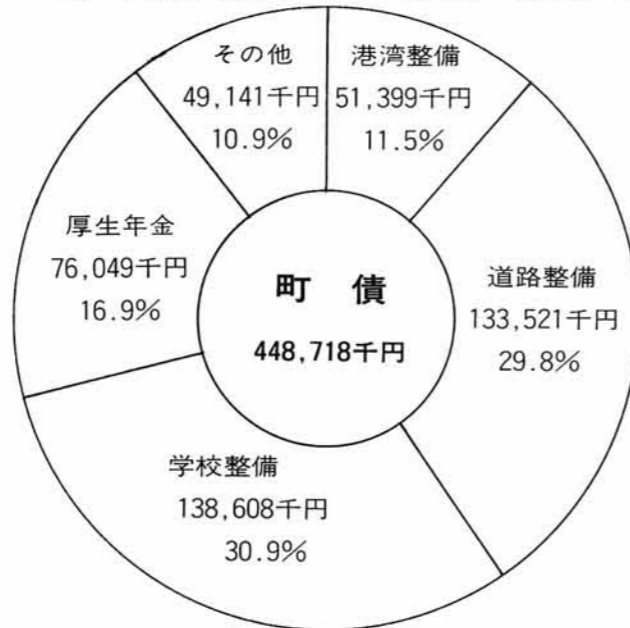
住民1人当り税負担と歳出額の年度別比較

▼町債現在高

借入先	金額
大蔵省	115,405千円
郵政省	170,427
新潟県	39,686
銀行	123,200
合計	448,718



▼町債の目的別現在高



年頭のご挨拶



寺泊町長
藤田 子男

明けましておめでとうございます。今年もまた、良い年であるよう皆様の御健祥を心からお祈り申し上げます。

今、日本は物価が異常に高い、失業者が多い、企業が不振だ、為替相場で円が急騰して貿易が不振になる。豊作で米が余るから減反転作を強制すると、政府は政策の強行に必死の体勢である。

政党も福祉だ、教育の拡充だ、所得向上せよ減税もせよと、いったいみんな簡単に実行できるのか、昨年初めに云われた言葉は弱者救済福祉優先であったが、今年は景気浮揚が第一で、教育、福祉は後廻しだと云われる。

昭和51年度決算

一般会計歳入 14億4,300万3千円

(歳出) (単位:千円) (歳入)

歳出 (単位:千円)		歳入	
土木費	291,160 (20.8%)	普通建設費	
民生費	279,562 (19.9%)	地方交付税	599,372 (41.6%)
総務費	239,595 (17.1%)	町税	262,838 (18.2%)
教育費	165,822 (11.8%)	地方債	157,800 (10.9%)
衛生費	89,754 (6.4%)	国庫支出金	123,907 (8.6%)
農林水産業費	87,018 (6.2%)	県支出金	95,613 (6.6%)
消防費	83,615 (6.0%)	その他	203,473 (14.1%)
議会費	37,345 (2.7%)		
公債費	35,649 (2.5%)		
その他	92,065 (6.6%)		



▲新築された竹森保育所

昭和51年度一般会計の決算では、歳入14億4,300万3千円、歳出は14億158万5千円であり、繰越金4,141万8千円となりました。

歳入面では、別表構成のとおり地方交付税の依存度が依然として高くなっています。

また、税収においては、対前年比25.7%の伸びとなり、収納率98.1%と98%以上の収納を持続することができましたことは町民各位の理解と協力によるものと心から感謝しております。

歳出では、普通建設事業(主なものとして竹森保育所新築、海浜公園整備、農林道、農面道路整備、町道改良舗装整備、宅地造成、土地造成など)に約33%、人件費32.5%、物件費9.4%などとなりました。

これら決算については、議会で決算特別委員会を設置し、各種資料など慎重な審査を行い、12月定例会で認定されました。

歴史散歩

(その2)

順徳天皇と聚感園

承久三年、今から七百五十六年昔の秋、順徳天皇が鎌倉幕府執権北条氏のため佐渡へ島流しとなり寺泊におとまりになったのはあまりにも有名な史実です。その時おとまりになったのが今の大町、五十嵐家(菊屋・現聚感園)で、主人は特に新たに御座を設けて奉仕の誠を尽くしたと伝えられています。

天皇はその時二十五歳であり、なぜ島流しになったのか。

当時、中央と地方を結ぶ主従関係のうえに成り立っていた政治機構がいわゆる封建政治であり、家人の生活は完全に保障されたかわりに常に財政上の義務を負い、「いざ鎌倉」というときは死を決して出陣したもので、幕府の代表源頼朝以来代々これに任じられてきました。頼朝が

死んでからは将軍は完全に口ホットと化し、ますます封建政治が強まり、この地方分権制度武家政治に反感をいだくものが多くなり、旧貴族階級の勢力と公武の対立紛争が絶えなかったのです。そしてついに後白河法皇にかわって院政の座についた後鳥羽法皇のとき討幕の拳に出ました。これが承久の乱で、この結果は旧貴族階級側の敗北に終り、後鳥羽・土御門・順徳の三上皇はそれぞれ隠岐・阿波・佐渡に流され、貴族の領地は没収されました。

当時、日蓮上人はこれを「前代未聞の下剋上」と評し、北畠親房は「上のおん」と断じたものです。

その後、時も流れ明治時代に至り荒廃したこの霊地を再建しようと、本間健四郎氏等が遺跡保存会

をつくり町民有志が計画、御遺跡碑(一番公園)並びに御製碑(三番公園)が大正十一年に建設され、拝殿も二番公園に建設されました。三番公園には郷土出身の五十嵐章太氏が順徳天皇を祭るひのき造りの神越の浦神社を創建されました。

この公園はもと北越地方の旧家五十嵐家の住居した家敷の跡ですが、五十嵐家の未裔にあたる東京の藤波省二氏(理研器械社長)は、順徳天皇が行在されたとき尽くした菊屋直系の伝統を守りたいと、先祖の誠に感激し、多額の寄付をされ、これを受けた町では聚感園の精神を生かした整備改良を実施し、一昨年ようやく完成したものです。

聚感園越の浦神社

その後、時も流れ明治時代に至り荒廃したこの霊地を再建しようと、本間健四郎氏等が遺跡保存会



聚感園越の浦神社

体験発表する保母さん

「よい環境づくりを目指す」

第二回母と保母の合同研修会開催される

十二月四日町立竹森保育所で第二回「母と保母」の合同研修会が開催されました。

もともと保育所は、保育に欠ける幼児を母親にかわって養護と教育を一体とした保育をおこない、幼児の人格形成、健全な心身の発達をはかることが目標であり、主な役割でもあります。

日頃せわしきにおわれて育児も思いにまかせぬ母と保育にあたる保母が一体となって幼児の育成について研修をおこないました。

研修のテーマを「よい環境づくり」に重点をおき、地域・家庭・保育所と三者一体となった環境づくりをもとめて五人の保母から保育所における幼児の毎日について事例発表がおこなわれ、それをめ

ぐって母親と保母との間にいろいろと意見の交換もなされ難問には、講師としてお招きした新潟市立八千代保育園長江川先生からアドバイスと記念講演で閉会しました。

参加された母親達からは毎年継続して開催してほしいと強い要望がありました。

すみかの手紙

印鑑の書替

新しい印鑑証明の方法が実施されてから、七ヶ月あまりとなりました。

従来からの登録者六千人のうち、半数程の方がすでに印鑑票の書替をすませて、登録票(手帳)の交付をうけています。

書替の期限は五月末までで、それまでに手続きのない印鑑票は、無効となりますので、お忘れなく申請をしてください。

ただし、次のような印鑑は書替できませんので、早目に適合する印を調製されて、新規登録をしてください。

- ▽住民票に記載された氏や名でないもの
- ▽氏名のほかに職業や資格なども表わしたもの
- ▽ま滅したり、欠けているもの
- ▽印面が八ミリ角より小さいもの、二五ミリ角より大きいもの

新しい 民生委員 任命される

民生委員の任期が十一月末で満了となり、十二月一日付新民生委員として別表の方々が任命されました。

民生委員は「社会奉仕の精神をもって保護指導のことにあたり社会福祉の増進に努める」と法律で目的が示され、児童委員を兼務することにより、多様化した各地域の中で社会福祉のアンテナ的役割を担当し、一方には児童委員としての立場から地域ぐるみの運動を推進し、健全育成にあたることとなります。

心配ごとや生活の問題で困ったときなどお気軽に民生委員にご相談ください。

住所	氏名	担当地域	住所	氏名	担当地域
松沢一	中川正男	金山・松沢(但し厚生寮のみ)	本山	和田弥平治	大地・円上寺・京ヶ入・本山・弁才天
上荒町	井田チエ	松沢二・小川町・上荒町	中曽根	小川裕朗	川崎・下曽根・中曽根・蛇塚・当新田
片町	亀山弘義	新道・上片町・片町	荒谷	河合益朗	千方原・荒谷
大町	和田レン	大町・上田一・上田二	中浜	力石作次	中浜・内川・高屋
上田町	竹内千代	上田三・上田四・荒町	金沢	青木清六	金沢・池ノ尻・大野積
坂井町	橋本秀吉	下荒町・蔵場一・蔵場二・坂井町	竹森	山田孝平	竹森
白岩一	嘉村テイ	蔵町一・蔵町二・蔵町三・白岩二・白岩三・港町・新川口	北曾根	本間敏男	北曾根・下中条・新長・小豆曾根
港町	小林トヨ	大和田・郷山・山田	高内	遠藤正男	高内・万善寺・教ヶ曾根
山田	阿部平八郎	志戸橋・松田・明ヶ谷	田尻	渡辺太郎一	岩方・田尻・町軽井
明ヶ谷	小林フジ	田頭・夏戸(但し小学校界)	入軽井	山崎百合	矢田・入軽井
田頭	早川七兵衛	引岡・戸崎・法崎・箕輪・吉	下桐	佐藤貞治	髭口・下桐・求草
年友	五十嵐勲藏		五分一	長谷川疆	谿田・五分一・木島
法崎	遠藤シツ				

(順不同)

あつたあつた
まじまじ
もろもろ
しつぱな
おどろおどろ

つね日頃から
きれいな選挙の
心がけ

昭和五十年の公職選挙法の改正で公職の候補者(現職も含む)や候補者になろうとする者などの寄付及び関係会社などが公職の候補者などの氏名を表示したり類推されるような方法である寄付は、選挙に關係があると無しにかかわらず禁止されたことは皆さんすでにご存じのことと思います。

また、寄付を催促するようなことも禁止されています。

年始、年賀などの贈物をはじめ各種の寄付が行われることのないよう、また、これらを求めたり、勧めたりすることのないよう、皆さん方ひとりひとりの注意とご協力をお願いします。

なお、これらについて詳しいことは町選挙管理委員会におたづね下さい。



お中元やお歳暮



集会などの飲食代



落成式や開店祝いの花輪